



教育目標 創造・連帯・健康

北中だより

令和4年度

第3号

令和4年6月2日



田んぼに水がはられ、苗床の準備や代かきをする様子が見られるようになりました。また、テレビからは、日本各地から梅雨入り間近の話題が聞こえてきています。



さて、5月は、春季大会や中間テスト、避難訓練、論語素読体験、その他様々な行事がありました。それらは、感染対策をしながらの実施ではありましたが、生徒一人一人にとって、自分の力を発揮する意味のある行事になりました。

新型コロナウイルス感染については、感染拡大が小康状態のようです。しかしながらひとたびクラスターが発生しますと感染者数が一気に増大してしまうのが実情です。そうなりますと、校外での学習活動を含め教育活動全体が停滞をしてしまいます。そうならないように感染を広げないように日常生活で予防対策をきちんと講じておくことが大切です。

学校では、子どもたちがどのような状況下でも意欲的に学習や学校生活に取り組めるように支援・指導しております。ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。

学校課題「学び合い支え合う授業づくり」のための授業研究会

北中学校区4校(北中・北郷小・大月小・名草小)合同研修会

5月18日(水)、本校の学校課題『学び合い支え合う授業づくり ～「誰一人疎外しない」「人の話をしっかり聴く」を基盤として～』を解決するための授業研究会を4校合同で行いました。

今回の授業研究会では、館野先生に、3年1組で「式を使って、ボール並べをゲームを攻略しよう!」を課題として数学の授業を公開いただきました。また、この授業は、示範授業と意味合いもあります。示範授業とは、日頃研究している成果をもとに授業を組み立て、参観者に模範を示すために公開する授業のことです。

授業では、課題を解決しようと生徒一人一人が、意欲的に取り組むとともに、グループの中で互いに教え合いながら共に解決しようとする様子も見られました。生徒にとっても学び合うことの大切さを実感できる素晴らしい授業でした。

また、この授業研究会には、北中学校区4校合同研修会として、北郷小学校、大月小学校、名草小学校の先生方にも参加いただきました。その趣旨は、小・中学校が連携をして、子供たちの学びを深めるために、子供たちの義務教育9年間を見通して歩調を合わせた指導を行うことです。今回は、授業参観と併せて、学び合いの授業での先生の役割について模擬授業を体験していただきながら学んでいただきました。

今後も北中学校区4校で、足並みを揃えて、子供たちの指導に当たっていききたいと思います。

最後に、今回の研修会を開催するにあたって、意義のある研修会とすべく細部にわたって研究、ご準備をいただきました先生方に御礼申し上げます。ありがとうございました。



課題解決のためのグループ活動



小学校の先生方への模擬授業

春季体育大会足利地区予選会

5月8日(日)、13日(金)、14日(土)、15日(日)、令和4年度春季大会足利地区予選会が行われました。11日(水)には、大会にかける各部の目標を部長が語る壮行会を放送で行いました。

当日は、どの部の生徒も日頃の成果を発揮しようとする意気込みを感じました。勝負事ですので、勝ち負けはつきませんが、試合に臨んで感じた緊張感や試合を見て学んだことなど、日頃の練習や大会に生かして欲しいと思います。今大会の入賞結果は、以下の通りです。

個人戦：体操 跳馬【準優勝】・段違い平行棒【優勝】
陸上競技 3年男子 100m【第1位】／共通男子 200m【第1位】
バドミントン 男子個人の部【優勝】／男子ダブルス【第3位】
団体戦：バレー女子【優勝】／ソフトテニス男子団体B【準優勝】
ソフトテニス女子団体B【第3位】／剣道男子【第3位】
バスケットボール男子【第3位】／バドミントン 女子【第3位】



勝利のために団結!

◎春季大会以外での成果

バドミントン男子個人・・・第47回足利市バドミントンシングルス大会【優勝】
バレーボール……………市民バレーボール祭【優勝】

足利中央特別支援学校との交流会

5月13日(金)、メディアアート部員が足利特別支援学校との交流会を行いました。

今年度も交流による教育的効果が大きいことから、十分な感染対策を行うことで、実施しました。

木工や手芸の作品作り、空き缶処理等を通じて、互いの理解が進み、有意義な時間を過ごすことができました。



作業を通じて相互理解を促進

特別支援学級合同卓球大会

5月26日(木)、足利市民体育館で開催された市内の特別支援学級合同卓球大会に、有志5名が参加しました。

予選リーグで敗退しましたが、参加した全員が、勝利の喜びを味わうことができました。

ご協力をいただきましたPTA 役員の皆様に御礼申し上げます。



日頃の練習の成果を十分発揮

いざと言う時のために！ 避難訓練

5月25日(水)、中央消防署の消防士さんをお招きして、火災を想定した避難訓練を行いました。避難にかかった時間は、3分50秒でした。生徒数や校舎の大きさからするととても早い避難だと思います。



避難後には、消防車による放水実演や安全委員の消火器の使用訓練、講話等がありました。

緊急時に、避難する時に大切ことは、自分の命は自分で守るということです。そのためには落ち着いて行動することが大事なことです。今日の訓練をよい機会として、学校や自宅などで災害に遭遇したときに気をつけることは何か、災害に備えてできることは何か、災害時に地域を支えるためにできることは何かを、一人一人がよく考えて欲しいと思います。そして、ふだんの自分自身の行動の質を高めてください。それが、災害の時に安全安心につながることを覚えておいてください。



消防車からの放水実演



安全委員の消火器の使用演習